

2023 ななさと

なるほど なっとく さあ とりくむぞ！ やって伸びる七里っ子！



R5. 5. 29 (月)
第14号
文責：校長 川添
七里小学校

児童詩「やまもも」第47集に 掲載されたよ！



高知県こども詩集「やまもも」第47集「一番幸せな時間」が発行されました。

その中に、6年生の**笹岡美彩姫**さんの書いた「私の犬、いち」の詩と3年生の**堀部陽向**さんのイラストと**6**

年生のみんなが写った写真が掲載されています。



七里小で

今日、集会の中で紹介し、二人

の表彰も行いました。詩については、高知県内の小中学校から6733編もの応募があり、その中から332編が選考・掲載されたようです。

集会の中で、美彩姫さんが、掲載された詩を朗読してくれました。保護犬としてあと1日で保健所に連れて行かれる運命にあった「いち」を引き取り、愛情いっぱい育てていること、「いち」のおかげでたくさんの幸せを感じていること、「いち」の命がある限り最後まで大切に育てるという決意と殺処分される犬を一匹でも減らしたいという思いが詰まった素敵な詩です。



美彩姫さんは、今回の朗読発表のために、タブレットを使って「いち」の写真を撮り、みんなに見せてくれました。詩の中に登場する犬の「いち」と実際の「いち」の姿が重なり、聴き手であるみんなの表情がいつの間にか優しい笑顔になっていきました。

肩幅くらいに足を開き、背筋を伸ばして立ち、両手でしっかりと用紙を持って朗読する美彩姫さん！聴き手を意識した凛とした声と間の取り方もすばらしかったです。お手本にしたいですね。

一人一台のタブレット端末の活用の幅が広がっています！

今回、美彩姫さんは家で撮った写真を、ロイロノート機能を使って光明先生に送り、電子黒板に映し出しました。

5年生の中には、外国語の自己紹介発表に向けて、家で好きな物を撮影してプレゼンを作った人もいます。2年生の中には、「この土日に家でタイピングの練習をして、12級まで合格した」と嬉しそうに教えてくれた人もいました。

文房具の一つとしてタブレット端末の活用の幅がじわじわと広がっています。

今までの自分を超える！

体力テスト個人カルテ登場！

6月1日に全校一斉に「体力テスト」を予定しています。天候の心配もあるので、各学年で計測できる種目については少しずつ取り組み始めています。

今日の2時間目に体育館を覗くと、5・6年生が「立ち幅跳び」の練習・計測に取り組んでいました。最初に一人ひとりに今までの体力テストの自分の結果が記入された「個人カルテ」が配られました。そのカルテを見ながら、**今までの自分を少しでも超えよう**という気持ちで、それぞれ自分の目標を設定していました。



	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点	記録	得点
筋力					18	7	18	7	22	9	22	9
上体起こし					19	8	15	6	21	9	20	9
長座体前屈					55	10	57	10	54	10	48	9
反復横跳び					40	8	41	8	47	10	50	10
シャトルラン					39	7	41	7	50	8	55	9
50m走					10	6	9.5	6	8.7	9		
立ち幅跳び					119	4	147	7	169	8		
ソフトボール投げ					15	7	15	7	23	9	21	9
合計						57		58		72		
総合評価						A		B		A		

段階	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
A	39以上	47以上	50以上	59以上	67以上	73以上
B	38~39	41~46	46~52	53~58	58~64	63~70
C	27~32	34~40	39~45	45~51	50~57	55~62
D	22~26	27~33	32~38	38~44	42~48	46~54
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下

目標を持つと、子どもたちの意欲は格段に高まります。上手な友達の跳び方を見て、「ひざを曲げよう。」「腕を前後に大きく振りよう。」などコツをつかみ、自分のものにしようとしていました。

授業後には、「170cmを超えた。」「去年の記録より伸びた。」と、嬉しそうに語る子どもたちの姿がありました。

個人カルテの取組は、今年度から始めました。**1学期末の個人懇談の際には、保護者の皆様にもカルテに目を通していただき、お子さんの体力面の成長とがんばりの足跡を見ていただきたい**と思います。

「読もっか」に掲載されたよ！

5月28日(日)付け

じょうでね

★四万十町・七里小★

1、2年生に「すいせんのラッパ」というお話の音読を聞いてもらいました。ぼくは、いろんな人物になりました。スイセンになったり、グローブみたいなカエルになったり、アリになったりしました。

ぼくは、もともと音読がすきだったので、わくわくしていました。でも、いざ本番になるとすぐきんちようしました。ゴールデンウイーク明けに1回しかリハールができてなくて、きんちようしてまぢがえたところもあったけど、じょうでねだったと思います。

1、2年生もまんぞくしてくれましたよ。みんなもとても上手に読めました。これからも音読をがんばりたいです。

(3年、甲田着記者)

がんばった体験は、人の心を動かします。そして、ステキな記事が生まれます。碧さんが、「じょうでね」と感じたのは、本番に向けてみんなががんばった体験があったからこそだと思います。